

大阪大学 学生支援GP
News Letter

K a e r u 通信 No.3

くりふ Change Return Incubate Frog

☆2009 年 4 月 3 日発行 ☆隔月発行

☆発行／大阪大学学生部キャリア支援課 http://www.osaka-u.ac.jp/jp/campus/leadership_GP/index.htm

☆編集／大阪大学学生部キャリア支援課 〒565-0871 吹田市山田丘 1-1



THE KEY PERSON

リーダーとは何か
小泉副学長 — 2・3

REPORT

そこまでやって委員会
いちよう祭活動レポート — 4～7

MESSAGE・・・ほか

鈴木 剛 前学生支援課長 — 8

リーダーとは何か

大阪大学理事・副学長(教育・情報担当)
附属図書館長

小泉潤二



「市民社会におけるリーダーシップ養成支援」プログラムは、いわゆる「学生支援GP」の一つとして、大阪大学の学生が市民社会のリーダーとなっていく上で有意義な知識や力を身につけることを支援しようとするプログラムです。学生や教員ばかりでなく職員も参加して、ともにこの目的のために協働しようとしています。そもそも大阪大学の果たすべき最も重要な役割は、さまざまな分野の「指導的人材」を育むことであり、これは大阪大学ばかりでなく、大学の中のリーダーとしての大学、つまりleading universitiesにとって最大の社会的責任であるという言い方もできます。

ここまでは比較的わかりやすいのですが、実は本当に難しく、また大切なのは「リーダーとは何か」という問題です。これについては簡単な答えはないし、ないほうがよいようにも思われます。答えることが難しいにしても、この問題について考えていくことができる人であるということ自体が、本当の意味でのリーダーとして最も大切な条件であるかもしれません。

リーダーには、資質や訓練、本人の努力や好運、言語を操る能力や行動する力が重要であるということはよく言われます。こうしたことはみな個人の属性であり、それらを鍛えたり磨いたりすることが可能です。しかし、それよりはるかに重要と思われるのは、「リーダーは

社会的につくられる」ということです。個人としての意思や行動がどうであるかということより、それに加えて、そうした意志や行動がその人がその中に置かれている社会でどのように受け止められ、どのように理解されるかがリーダーをつくるということです。

喩えになりますが、インドの賢人についてのこんな話がサンスクリット文学にあります。座る賢人の目の前に巨大な象がいる。しかし賢人は、これは象ではない、と言い放つ。象がその場をゆっくりと立ち去り始めると、賢人はやはりそこに象がいたのかもしれない、と考え始める。象が遥か視界の外に消えると、賢人は象が残した足跡を調べ、「ここには確かに象がいた」と宣言するのです。

これは目の前に象がいるという現実について奇妙な見方をする変人の話ではありません。現実というものを理解する上での深い省察を含んでいます。社会的な事実や出来事理解は、「事後的に」、つまり象の立ち去った後で決まるということ、独特の切り口から示した逸話であり、事実について判断し理解することは過ぎ去った後にしかありえない、という哲学的問題についての洞察を示したものです。

「事後的に」ということは、リーダーとは何かを考える際にとりわけ重要であるように思います。リーダーが真の意味でのリーダーであったかは、後でしかわかりません。リーダー

は常に人々を導きますが、人々をどこへ、どのように導きどのような結果をもたらすかは事前にはわからず、必ず事後的に評価され、それがその人がリーダーであり続けるか、さらにどこかへ導くことになるかを決めていくことになります。「人々をどこかに導こうとする」リーダーシップもありますが、より重要なのは「人々がどこかについてきた」というリーダーシップであると思います。

世界中のあらゆる組織や団体をみたときに、リーダーがいないということはあまりありません。時には「無頭的」と呼ばれるリーダーのいない社会もありますが、どのような社会のどのようなレベルにも、ほとんどの場合は何らかのかたちのリーダーがいることが知られています。しかし現代という時代は急速に複雑化と多様化が進んでいます。グローバル化は、日本に限らず社会の至るところで進展しつつあります。こうした状況の中でリーダーとなるということは、どのような場合でも容易なことではありません。しかし、今回のリーダーシップ養成支援プログラムに参加される方々も、そのほかの学生の方々も、ほとんど皆が何らかのレベルや規模で、何らかの種類のリーダーの役割を果たすことになると思います。皆さんの将来において「象の足跡」を残す人が、一人でも多いことを願いたいと思います。

「そこまでやって委員会」では、いちよう祭に向けての活動はもちろん、メンバー同士のつながりも大切にしています。そこで、2月26日(木)スポーツ大会を開催しました。

良い企画は、楽しくやってないと生まれません！！ということで内部イベントの一つとしてバスケットボールをやりました。なぜバスケットをしたのかというと、個人的な趣味です！当日は誰もが真剣に取り組み、足をつったメンバーが続出でした。スポーツ大会は今回が初めてでしたが、僕たちの団体ではできるだけ定期的に内部イベントをやろうとしています。それには重要な目的があります！



現在、委員会では5つのプロジェクトが同時に進行しており、それに伴う各プロジェクト単位や全体としての広報戦略の立案やビラ・ポスターの作成など、最近では複数のテーマが並行して行われています。各プロジェクトの企画運営だけでなくこれらの作業も加わり、他にも各自が様々なことをやっているという現状では、全員が集まることのできる機会が少なくなっています。そのため全体としての内部交流の機会が少なくなり、プロジェクト単位で独立していき、委員会としては寂しい状態になってしまうのではと思っています。更には、今後は来年度の新学期からの大規模な広報活動に向けての準備などに追われ、そのままでは悪い状態が更に悪化してしまいます。学生団体の活動をしていると、やらなければならないことがあまりにも多くなってしまうことが多々あり、企画運営をいつのまにか仕事のように感じてしまいます。そのような状況になると気分も滅入ってきたり、メンバー同士の会議中の会話も刺々しくなり、楽しいはずの皆での活動が精神的な負担以外の何物でもないということになりかねません。



そこで！、仲良くなるという目的だけでなく皆が委員会を楽しめるように、という願いから内部イベントの一環としてスポーツ大会を開催したのです！！顔を合わせる度に難しい話ばかりしているとその人に会うのが億劫に感じてしまうし、それが会議にもなると長時間なので尚更です。なので、企画のことを忘れて、純粋に皆で遊ぶことを楽しんだり、食事会をしてバカなことをたくさん喋ったりという息抜きを委員会として定期的に企画しています。

やはり何事も楽しくないと長続きしないので、たくさんの議題に追われて、会議で無駄話のひとつもできないような時期だからこそ、委員会自体がメンバーにとって楽しく、親しみやすい憩いの場になればなあと思っていろいろ考えています。実際は、その内部イベントを企画する立場の自分が一番楽しんでいます(笑)。



このように、僕たちは楽しく委員会活動ができるようにいろいろ考えたりもしています。それは企画に関するコンセプトである【コネクション形成】に関係していて、このコンセプトの意味は企画への参加者に叶えて欲しいという外向きのものだけでなく内向きのものでもあり、自分たち自身がこの企画運営を通してメンバーと親友みたいになったり、交渉などを通して様々な人と出会い、その経験を自分の将来の夢にコネクトして、よりよいものにしたい、という思いを個人レベルかもしれませんがメンバーは抱えています。そのはずですよ！！

いろいろ書いてしまいましたが、ほんまの個人的な願いとしては、メンバー全員が楽しくやれることを一番の望みとしています。これからも全員で頑張っていくので、いちよう祭は少し期待しておいて下さい(笑)。(レポート:植田)



ここでは「そこまでやって委員会」の全体会議の様をお伝えします。

2月27日に全体会議を開催しました。この会議において、まずはじめに、委員会全体や各プロジェクトの現状報告をして、意見を交換したり、アドバイスを得たりしました。

次に、本日の議題である「そこまでやって委員会のプロジェクトをどのように広報するか」を考えました。この日は、参加者全員でこの議題についてグループワークをしました。どのメンバーもこのような作業になれているため、普通に考えただけでは出てこないような、奇抜で、素敵で、面白い、そんなアイデアがたくさん生まれます。実現可能かどうかはさておき、メンバー自身が楽しんでアイデアを出していたようです。ワークが白熱しすぎて、時間内に消化できないこともしばしば…義務ではなく、自分から楽しんでこのプロジェクトにかかわっているんだというのがよくわかります。この場で生まれたアイデアたちが、のちの広報で生かされていきます。この場で上がったのがどのような広報であったのかは、実際に豊中キャンパスで行われるのをお楽しみに。きっと、他とは違った面白いものが出来上がると思います。



このような全体会議を、そこまでやって委員会では、月に一回開催しています。会議では、各プロジェクトの現状報告、全体で話し合う必要がある議題について話し合わせ、全体での共有が図られます。いちよう祭が近づくにつれ、現在、5つあるプロジェクトごとに、またそれぞれの局ごとに、個々の会議が多くなってきています。そこで、情報の共有を手助けするツールとして、スカイプやweb上の掲示板などを使っていますが、そこで伝えられることには、やはり限界があります。そこで、一番いろいろなことを伝えられるのは、全員が顔を合わせ、話しあうことだろうという考えのもと、全体会議の場がもうけられています。そうすることにより、私たちがいちよう祭のイベントで実現したいと考えている「人と人とのつながり」「コネクション」を形成していけます。普段あまりかかわりのない3回

生と1回生の交流も生まれます。同じワークをすることにより、その場でいろいろな考えに触れることができ、また、人に伝えなければいけないのでいろいろな面で自分を成長させてくれる要素がたくさんあります。

「会議」と聞くと、かなり堅苦しく聞こえるかもしれませんが、しかし、スポーツ大会の記事をよんでもらってもわかるように、私たちの基本的なコンセプトは、よい企画は楽しくないと生まれない!です。そのため、長時間にわたる会議も、その雰囲気は、とてもいい感じですよ。発言がしやすい場所であり、また、アイデア出しなどのワークと、真剣に話し合わなければいけない議題としっかりとメリハリをつけています。ワークをする際にも、話し合いをする際にも、メンバーは常に全力です。タイムマネジメントは大切ですが、議論が白熱し、時間内に終わらないこともしばしば。



大阪大学学生支援 GP
そこまでやって委員会

いちよう祭の極上メニュー、5つそろえました。

新しい友達を見つけたい。いつもの友達と特別な思い出を作りたい。普段とはちょっと違う阪大に触れてみたい…
そんなあなたの想いを叶える、5つの企画を用意しました。
いくつか組み合わせるのもよし、気に入った一つを選ぶのもよし、あなたにとって最高のメニューを見つけてください。



LOVE

恋のから騒ぎ with 留学生



ECO

フリマで ECO!!



DREAM

あなたの IKIZAMA プロデュース



DISCOVER

ハンダイ探偵事務所〜キャンパスを駆け巡れ!〜 阪大へ受けた応募〜よみがえれ後援堂〜



ACADEMIC

2009年5月1日(金)・2日(土) いちよう祭

大阪大学大学教育実践センター イ号館 (豊中キャンパス)

※一部、屋外企画は豊中キャンパス内

詳しくは WEB で!! →<http://studentsgp-ichou.hustle.ne.jp/>
お問い合わせはコチラ →info@studentsgp-ichou.hustle.ne.jp

そこまでやって委員会とは…
大阪大学学生支援 GP「市民社会におけるリーダーシップ
養成支援」プログラム公認の学生団体で、プログラムに
参加した学生を中心に活動しています。



会議について、われわれが普段どのようなことをしているのか少しはわかっていただけたでしょうか? 例年とは一味異なるいちよう祭をどうぞお楽しみに。

(レポート: 和田)

恋のから騒ぎ with 留学生

真木さん

①私は外国語学部なのですが、箕面キャンパスにいますと豊中や吹田の子達と交流するきっかけが全然ないんです。それで「箕面以外にも友達を作りたい!」「何か楽しいことがやりたい!」と思ったのがきっかけでした。つまり完全な思いつきです(笑)私はリーダーシップ養成合宿には参加していないのですが、この団体のリーダーのK君とは元々高校が一緒で、何かやりたいという話をしたら、誘ってくれました!参加した当初はアウェーだったからどうしようと思っていたのですが、みんな優しく迎え入れてくれて安心したのを覚えています(笑)

②阪大には約1,400人も留学生がいるのに、なかなか交流するきっかけを掴めない人って多いですよね??単純に、すぐもっとなんか思いつく人って少ない気がします。私自身も、もっと思い切って留学生の輪の中に飛び込んでいけばよかったなという思いはあるので・・・(笑)きつとみんな心の中では交流してみたいと思ってるはずなんです、いざとなるとなかなか勇気のいることだと思います。なので、少しでもそのきっかけになるようなお手伝いができればと思ったのが一番の理由です。

③私たちスタッフもみなさんも心の底から楽しめるようなイベントにしたいと思います!!他の活動と掛け持ちしていたりと、忙しいスタッフも多いですが、今も日々改善を重ねてよりよいイベントが提供できるように頑張っています。まちな祭に比べると、ちょっと盛り上がり欠ける?と言われていたいちよう祭ですが、私たちのイベントでいちよう祭を盛り上げるぐらいの気持ちで取り組みたいです☆個人的にも、学生としていちよう祭に参加できるのは今年が最後なので、とにかく楽しみます!!

④テーマが恋愛だったり、グループワーク形式だったり・・・これまでの留学生交流会とはまったく違う中身になっています!!今までの留学生交流会は立食パーティーが多くて、結局何を話したらいいかわからず、どこか満足できないまま終わっていませんでしたか?私たちの企画は、留学生はもちろん、他の新入生とも積極的に交流できる絶好のチャンスです☆スタッフも面白い人たちがばかりで、必ず楽しめると思います。そして、楽しんでもらうのはもちろんですが、実は結構深い想いを込めたイベントでもあるので、当日のお楽しみということにしておきます(笑)とにかくちょっとでも興味を持った人はぜひ足を運んでみてください!参加して後悔はさせません!(笑)

⑤私たちの企画に限らず、阪大にもこんな面白い活動をしている人が沢山いるんだってことをぜひ知ってもらいたいです。私も今振り返ってみると、1年次のときは、ただ何となく勉強して遊んでそれなりの大学生生活に満足していたような気がします。でもその後の色々な活動を通じて、積極的にチャレンジしていくことの大切さを本当に痛感しました。私たちの企画で、国際交流の素晴らしさや人脈作りの楽しさに気づいたら、今度はぜひみなさん自身がアクションを起こしてみてください。大学生活、長いように思えるかもしれませんが本当に一瞬です。この4年間で、自分に自身が持てる経験を沢山積んでほしいと思います。

⑥これは私なりの考えですが、「全員が問題意識を持ち、同じ方向に向かって考えられるように仕向けること」だと思っています。外国語学部で勉強していると、本当に世界には解決しなければならない問題が山積みで、正直私一人に何が出来るんだろうと自己嫌悪になったこともありました。しかし、自分一人に出来ることは限られるからこそ、仲間と協力し合い、自発的に考えて、知恵を出し合いながら前進していくことが大事だと思います。そのためにはまず自身の考えや想いを発信していく力が必要です。学び、吸収することはもちろん大事ですが、それを活かしてどんどんアウトプットしていくことが「市民社会におけるリーダーシップ」には必要だと思っています。

③ いちよう祭に向けての意気込みを!
④ 担当プロジェクトをアピールしてください。
⑤ 自分たちの活動を通じて、まわりに伝えたいことは?
⑥ あなたにとっての市民社会におけるリーダーシップとは?

①僕は3年次の春のリーダーシップ合宿に参加していましたが、そのときに知り合った友達にこの団体に誘われたのがきっかけです。リーダーシップでのつながりや活動を合宿だけで終わらせるのではなく続けていきたい、と思い参加しました。

②「そこまでやって委員会」でどんなことをやろうか、となった時に「環境についての意識を向上する」というテーマでフリーマーケットをやろう!という案がでました。僕はもともと安く買える古着が好きで古着をよく買っていたので、安く買えて環境のためになり、要らないものを売って環境のためになるフリーマーケットはすばらしい!と思いこのプロジェクトをやりたいと思いました。

③頑張るでえ!!!

④上に書いたとおり、安く買えて要らないものを売って環境のためになる、フリーマーケットだけでも出店者とお客さんにとっていい企画だと思うのですが、僕たちは一味違うプロジェクトにしようと思っています。それは人のつながりを大切にしたり、変わった企画をしたりと、おもしろくなっているのぜひ参加してください!

⑤一つは、企画のテーマである「環境」についてです。フリーマーケットを通して、普段要らないと思っているものでもまだまだ使える、必要としている人がいるということが伝わればいいな、と思っています。あとは「学生でもここまでやれるんか?」って思ってもらえたらうれしいですね。

⑥たくさんの人に影響を与えて正しい方向に導くことだと思います。

①夏休みに参加したリーダーシップ研修の仲間と一緒に、何でも良いから企画をやりたいと前から考えていました。そんな時に、先輩から「そこまでやって委員会」の話を持ちかけられたので、これは行くしかないだろう!と思ったからです。

②自分の担当しているプロジェクトは、元々はリーダー研修中に有志で夜に色々語り合った事がきっかけで出来たものなんです。他のプロジェクトも全部面白そうでしたが、あえて一つ選ぶならコレかなと。また、阪大関連の先輩と将来について沢山喋りたい!という願望はもともと強くありました。

③メンバーが全員1年次なので、その分新入生を満足させる企画を作ろうと日々奮闘しております。参加者・ゲスト・企画者双方にとって有意義な時間を提供したいので、あとの限られた時間をフルに使って頑張っていきたいです!

フリマで ECO!!

吉田さん

「そこまでやって委員会」のプロジェクト リーダーにアンケートを実施しました。

①「そこまでやって委員会」に参加した
きっかけは？
②自分が担当しているプロジェクトを
なぜやりたいと思ったか？

④夏季のリーダーシップ研修に参加したことがきっかけです。今までも、リーダーや企画者側の経験をしている方が多かったので、よい影響を受けられるのではないかと思います。

②私たちの担当するプロジェクトでは、学問をテーマにしています。学生の本分であるはずの学問ですが、学園祭という場で、扱うのは新鮮だと思いました。そして、私自身は3年になってから、学問が楽しくなってきたので、今回のターゲットである新入生に早く学問の楽しさに触れてほしいなと思っています。

③講師の方々と新入生をつなぐ架け橋となり、来てよかった、そして、またやってみたいと思ってもらえるようなイベントにしたいです！！

④「阪大ー受けたい授業！～よみがえれ懷徳堂～」はその名の通り、阪大ーの授業を目指しています。1つの視点からだけでなく、異分野の教授たちがそれぞれの論点で問題に切り込み、基礎科学から社会問題にいたるまで、学問の区切りを越えて、参加者とホットな議論をかわす・・・眠る隙を一切与えないホンモノの学問の応酬。そこには、あなたの脳を目覚めさせるナマの学問があります。

⑤プロジェクトごとの内容はもちろん、学生が持つ企画力など、様々な可能性を伝えたいと思っています。やる気さえあれば、こんなに大掛かりなことができるんだ！と思ってくれる学生が一人でも増えとうれしいです。このイベントを通して、阪大が、さらに活気付いてくれることが大きな目標なので、5年、10年経ったあとで、「あの時、阪大が変わり始めたよね」って言ってもらえるようなイベントにしたいですね。壮大な野望ですが。

⑥今回のイベントを通して、ただ表に立つだけがリーダーではないのだなと強く感じました。とくに市民社会においてということであれば、鍋の時に率先してあくを取るような人ではないでしょうか？その心は、指示をするだけでなく、自立たない仕事でも、全体のためになるとわかれば、買って出る人です。もちろん多様で各人にあったリーダーシップがあると思いますが、私は今まで、リーダー経験のない人や、控えめな人にも、等しくリーダーの素質があると思っています。

阪大ー受けたい授業！ ～よみがえれ懷徳堂～

藤澤さん

ハンダイ探偵事務所 ～キャンパスを駆け巡れ！～

泉さん

①リーダーシップ合宿に参加して、そこで出会った仲間と一緒に何かしたい、何かをすることで繋がってみたいと思ったのが一番のきっかけです。

②私は旧外大入生なので、単純に自分でも「阪大ってどんな大学なのか」を考えてみたかったからです。

③私たちの「いちよう祭極上メニュー」で、いちよう祭に関わる全ての人に阪大のおいしさを味わってもらいたいです！！

④「ハンダイ探偵事務所～キャンパスを駆け巡れ！～」では、新入生数名のグループに先輩のガイドをつけて豊中キャンパス内の綺麗な場所や穴場のくつろぎスポットなどを探索してもらいます。探索を進める中で自分のお気に入りのスポットを見つけることはもちろん、グループの新入生や先輩と仲良くなったり、これからの大学生活に必要なものを探しに行きましょう！

⑤自分が動けば周りも動き、それによって自分が変わり、成長できるということ。

⑥周囲を巻き込み活性化する雰囲気を持ち、またそのような行動ができること。

④阪大のOB・OGさんはサークルや部活以外ではなかなか会えません。ましてや大学時代・将来について語り合える関係はなかなかありません。そこでこの企画です。学部・所属団体を超えた先輩・同回生との交流がこの企画の魅力の一つ。その悩み多きあなた！是非参加しましょう！

⑤何でもいから、「良いな」「やりたいな」と思った事はとりあえずやってみて下さい。折角「大学」という場に通っているのですから、それを有効に使わないと勿体ないです。それに口だけなのは自分のためにならないです。とりあえず、明日何か一個やってみましょう。

⑥これは未だに良く分らないですね。「リーダー」にも色々ありますし・・・まあ僕の目線であえて言うなら、まずはメンバーを信頼すること。そして返ってきたメンバーからの信頼に全力で応えること、ですかね。

あなたのIKIZAMA プロデュース

高橋さん



大阪大学学生支援 GP
そこまでやって委員会

LATEST NEWS

平成21年度「市民社会におけるリーダーシップ養成支援」プログラム 合宿研修開催決定!!!

【日 時】	1年次：2009年8月17日(月)～8月20日(木)	【場 所】	VIP アルパインローズ・ビレッジ(兵庫県篠山市)
	2年次：2009年9月2日(水)～9月5日(土)	【対 象】	学部学生
	3年次：2009年9月16日(水)～9月19日(土)	【内 容】	参加型ディスカッション形式(3泊4日合宿研修)

詳細は学生支援GPのwebサイトにて随時UPします。

MESSAGE

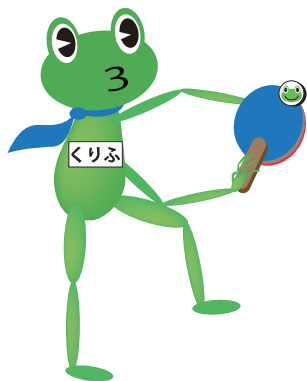
「夢は大きく目標は高く」

鈴木 剛 前学生支援課長

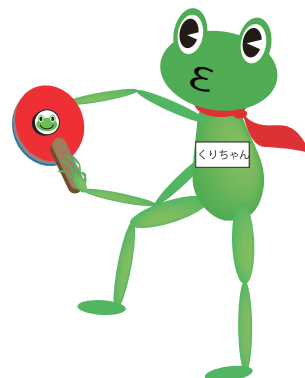
私の好きな言葉に「夢は大きく目標は高く」があります。夢を大きく掲げその目標に向かって努力し到達するまでの過程が大事である。また、「一番になりたい気持ちを持たない限り一番にはなれない」という言葉も一番を目指し目標設定を高くしなければ気持ちもついてこないということで大事にしたい言葉です。なぜ、この書き出しから始めたかは、皆さんは、なぜ大阪大学に入学してきたのかを改めて考えてほしいと思ったからです。目標があったからこそ入学され、勉学にいそしんでいると思いますが、もう一度初心に立ち返り、阪大の教育目標である教養・デザイン力・国際性を自分にあてはめて目標に向かって努力して欲しいと思います。

私はこの学生支援GPの立ち上げに関わり本当に良かったと思っております。多くの周りのサポートもあり、現在、少しずつ成果が表れてきているのを実感しています。このプログラムは、自主性を重んじ自ら考え自ら行動を起こすことを主に、こちらは小さなサポートでしかありませんが、このプログラムの目標である、常識を持ち社会における組織の在り方を理解し、望ましい方向に引っ張っていける対話力、企画力、構想力を持った人を養成する趣旨を理解し成長を図って欲しいと思います。まだ、現在進行形でどのように発展していくか非常に楽しみで、皆さんは多くの可能性を秘めています。ぜひ多くの経験を吸収し考え努力して欲しいと思います。

将来、皆さんは社会に巣立ちますが、これまで様々な周りのサポートがあり成長してきました。今度は皆さんが社会に貢献する時が間もなく来ます。皆さんの未来に向けての活躍を期待します。



鈴木前学生支援課長と編集担当吉田(中央)と尾野(左)



INFORMATION

「Kaeru 通信くりふ」では、引き続きリーダーシップにちなんだ活動をしている方・団体の情報を募集しています。皆さんの活動を多くの人に知ってもらいたいと思っている方！投稿をお待ちしています。

【お問い合わせ】

大阪大学学生部キャリア支援課キャリア支援第一係
gakuseikyasiiti@ns.jim.osaka-u.ac.jp

NEXT ISSUE No.4

☆そこまでやって委員会 in いちよう祭レポート☆
5月1日(金)～2日(土)
に開催されるいちよう祭での活動をお伝えします。

☆夏の合宿研修☆

今年もやります!!! 応募方法など掲載予定です。

次号発行日は6月5日(金)予定。

EDITOR'S NOTE

☆学生支援GP「そこまでやって委員会」のいちよう祭の準備も着々と進んでいます。地域の方のご協力も頂き、学生達の活動もひろがりつつあります。これを機会に大阪大学全体の活性化に繋がればいいと期待しています。

これからも皆さんの活動を応援していきたいと思います。